Vol.8

お願い申し上げます。

ます。皆様のご指導ご鞭撻賜りますようよろしく 添う県政の実現を目指して全力で取り組んで参り

◆平成26年2月県議会一般質問

Q 大戸川の河川整備のスケジュールについて?

めており築堤工事に着手後、平成28年度には現堤 防を撤去し、引堤の効果が出るように進める。 から5ヶ年で堂村橋付近までの改修を進める。 の38キロメートルの整備を位置づけ、平成26年度 今後概ね20年間で稲津橋下流から荒戸橋下流まで A(知事)信楽・大津圏域河川整備計画では、 現在、石居橋左岸の引堤に必要な用地買収を進

げるのか? 県が計画している改修で台風18号の被害は防

はできない。 の豪雨となった台風18号による被害については に流下させることができる。しかし、戦後最大級 A (知事) 改修が完成すれば黒津地点で概ね10 軽減する効果はあるものの被害を完全に防ぐこと 年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全



治水安全度の目標を高めた。大戸川について見直 す考えは? □ 京都府の鴨川では、台風18号の被害を受けて

げることが必要であると考えている。 むようにできるだけ早く段階的に治水安全度を上 (知事) 現計画に基づき、住民の皆さんの望

閉会しました。引き続き、皆さんの暮らしに寄り

民の皆さんや県議会の声を受けて修正し、再提案

平成26年2月県議会は、新年度当初予算案や県

された流域治水条例案などを可決して3月24日に

要性について知事の認識は? 地区の水害被害を減らす観点から大戸川ダムの必 よう地元から要望が出されている。田上、上田上 大戸川ダム本体工事の建設を国に働きかける

分だと思っている。 している。国の検証結果が、意思決定の大事な部 が実施するダム検証により判断されるものと認識 考えているが、ダムそのものの必要性については国 ▲ (知事) 大戸川ダムに一定の治水効果はあると

解

て本体工事が凍結されました。 嘉田知事の「(今後30年間の) 計画に位 置づける必要はない」とする意見を受け れた「淀川水系河川整備計画」において 大戸川ダムは、平成21年3月に策定さ

の田上、上田上地区では、大戸川からの が明らかになりました。 ている改修だけでは被害が防げないこと きな被害が発生するとともに県が計画し 溢水により約86ヘクタールが浸水し、大 しかし、去年の台風18号により大津市

証し、「淀川水系河川整備計画」の見直し に向けて国に働きかけるべきだと考えます。 今こそしっかりと台風18号の被害を検 地域の皆さんの

◆予算特別委員会 全体質疑◆

子ども家庭相談センターの

機能強化を図りつつ迅速な意思決定や円滑な情報 とが課題として明確になった。こうしたことから 比べて、管轄内の児童人口が大きな課題であるこ A(知事)全国の都道府県児童相談所の平均と ターを新たに設置することが効果的である」とし 「一時保護所を併設した子ども家庭相談セン た社会福祉審議会の答申についての県の対応は?

策定し、開設場所や開設 センターを分割し、新た 時期及び管轄区域の変更 センターの整備方針案を 断した。平成26年度に新 区域の見直しが必要と判 なセンターの増設と管轄 案を早急に決定する。 共有を確保していくため には中央子ども家庭相談



人材と保育の質 確保を求める

ているが、今後の取り組みは? による保育士の確保や保育の質への影響を懸念し 民間保育園の整備が同時期に集中すること

保育士確保の強化策について検討する場の設置や 携等あらゆる確保方策を講じる。 保育士養成校への個別依頼、ハローワークとの連 保育所整備に伴って300人以上の保育士が必要 等により1145人分の定員増を図る。これらの 域では保育士不足がさらに深刻化する恐れがある。 になると見込んでいるが、整備が集中する南部地 A (健康福祉部長) 平成26年度、保育所の整備

り、新しい人材育成の基 的確に盛り込むとともに 質の確保、向上について 保育関係機関と連携を図 事業支援計画」に保育の また、これから策定する「子ども・子育て支援

本方針を策定する。

常任 員会の活動から

視察しました。 上位を続ける秋田県を文教警察常任委員会で 小学6年生で全国4位となった事態を受けて、 今年度の全国学力・学習状況調査の結果

確立しているという印象を受けました。 授業改善につなげていく組織的な取り組みが をしっかり分析して、課題に基づく具体的な で学力・学習状況調査等あらゆる調査の結果 家庭学習の 充実はもとよりそれぞれの学校

授業を進めていました。 を重視して、参加意識をもたせながら丁寧に ともに、子どもがお互いに意見を交わす機会 しました。先生も授業の狙いを明確にすると の考えをしつかりと表現できている姿に感心 も達が積極的に授業に取り組んでおり、自分 授業参観した秋田市内の小学校では、子ど

なく、着実な めますが、単 学び改善プロ 活用した補充学習の体制づくり等「子どもの に取り組んでいかなければならないと考えて 平成26年度、県教育委員会として放課後を 取り組みの積み重ねで学力向上 に調査結果に|喜|憂するのでは ジェクト」 を新規事業として進



未来に向けた確実な一歩平成26年度予算から皆さんのお声を形にした事例を紹介します。

がん対策の充実

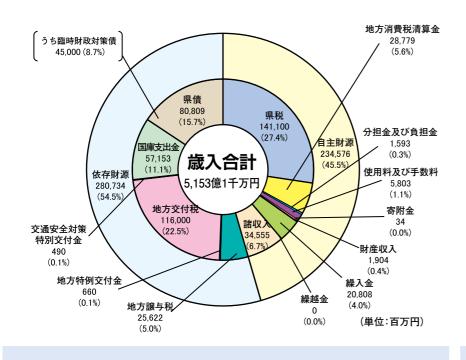
昨年12月、議員提案により制定 した「がん対策推進条例」に基づき 総合的ながん対策が進められます。 平成26年度予算では、新たにがん対 策推進基金が創設され、積み立て られた1億2000万円の基金を活用 してがんの予防や早期発見、がん 患者とその家族の生活と治療の両



立支援等の事業が実施されます。さらに健康医療課に「がん・疾病対策室」が設置され、体制の強化が図られます。

教育委員会では、がんへの理解を深めるため教員を対象とした研修会を実施するとともにがん教育の教育資材の作成に取り組みます。

●歳入予算の構成図



防犯対策の強化

県内の犯罪認知件数が2年連続で増加する中で、文教・警察常任委員会県民参画委員会における瀬田東学区自主防犯推進協議会や子ども安全リーダーの皆さんとの意見交換をもとに警察力の強化とともに自主防犯活動への支援や防犯カメラの設置促進を求めてきまし

●歳出予算の構成図



た。平成26年度予算では、子ども安全リーダーの報償費が盛り込まれ、自主 防犯団体等に防犯カメラを設置してもらう「地域安全カメラ貸付設置支援事 業」や可動式カメラを貸し出す「セーフティカメラ貸出し事業」の費用が計 上されました。

議会費 総合政策費 20,965 1,196 総務費 予備費 (4.1%) (0.2%)20.995 130 (4.1%) (0.0%)琵琶湖環境費 諸支出金 19,192 31,275 (3.7%)(6.1%)公債費 82,450 (16.0%) 災害復旧費 健康福祉費 4.159 84,944 (0.8%) (16.5%)歳出合計 5,153億1千万円 商工観光労働 26,853 教育費 土木交通費 農政水産業費 46,001 15,263 警察售 (3.0%)(8.9%)29.500

文化財保護の推進

平成20年度から事業が休止していた近江国庁跡の史跡を保存するための土地の買い上げ、公有化が再開、平成26年度予算で500万円が計上されました。国庁跡環境整備基本計画の見直しをはじめ近江国府跡全体について今後も大津市と連携した整備を求めていきます。



また、平成28年度から実施される予定の延暦寺根本中堂等の大規模修理に向けた調査事業費が計上され、こうした修理に活用する文化財保存基金に新たに10億円が積み立てられました。

通学路の安全確保

児童が巻き込まれる悲惨な交通事故が全国で相次ぐ中、歩行者の安全を確保できる歩道整備が強く望まれています。今年度も瀬田北学区において地域の皆さんと一緒に要望してきた大萱3丁目交差点の横断歩道と歩行者用信号機の設置が実



(単位:百万円)

現しましたが、平成26年度予算では、歩道の整備やカラー舗装等の通学路の 安全対策に18億2000万円が計上されています。

議員定数を削減

議会定数検討委員会での協議結果を受けて、2月県議会で現在47となっている議員定数を44とする条例案が可決されました。

これにより平成27年春に執行される県議会議員選挙では、大津市選挙区の定数は10で変わりませんが(現在は但し書きによって大津市選挙区を1減、米原市選挙区を1増)、新たに彦根市と犬上郡、近江八幡市と竜王町、東近江市と日野町、愛荘町がそれぞれ合区され、全体で3人削減します。今後も効率的でありながら、しっかり皆さんの負託に応えられるように議会の権能を高めていく必要があります。

滋賀県議会議員

さとう健司

- ◎文教警察常任委員会
- ◎体育振興・健康づくり対策特別委員会
- ◎議会定数検討委員会

皆様のご意見をぜひお聞かせください

〒520-2153 大津市一里山1丁目1-13-1305 sato@satoken.net